

杉並区財団等経営評価

2005

平成17年10月



杉並区

目 次

平成17年度杉並区財団等経営評価結果について.....	1
1. 経営評価の概要.....	1
2. 団体別事業目的別・事業内容及び総合経営評価（三次評価）.....	1
3. 対前年度比較.....	5
4. 経営評価のまとめと課題.....	8
財団等に関する調べ（資料編）.....	10
1. 職員数.....	10
2. 財政.....	11
3. 定性指標.....	12
4. 定量指標.....	13
各団体の経営評価表.....	14
1. 財団法人 杉並区勤労者福祉協会.....	14
2. 財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団.....	26
3. 財団法人 杉並区スポーツ振興財団.....	38
4. 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会.....	50
5. 社団法人 シルバー人材センター.....	62
6. 特定非営利活動法人 すぎなみ環境ネットワーク.....	74
7. 杉並区文化・交流協会.....	86
各団体の経営評価表は、次のとおり掲載しています	
1. 経営評価表	
2. 財団等経営評価による改善計画	
3. 運営評価表（事業分析）	
4. 運営評価表（事業分析）	
5. 運営評価表（事業分析）	
6. 運営評価表（経営分析定量指標）	
7. 運営評価表（経営分析定性指標）	
8. 問題点検討表（2次評価）〔区の所管部課が作成〕	

平成17年度杉並区財団等経営評価結果について

1. 経営評価の概要

杉並区は、スマートすぎなみ計画に基づき、財団等がより効率的・効果的に事業を執行し、区民サービスの向上や区民への説明責任を果たせるよう、平成13年度に財団等8団体に対し経営評価制度を導入しました。平成14年度をもって、さんあい公社が社会福祉協議会に事業の一部を移し解散したため、昨年度からは7団体に対して実施しています。

経営評価では、財団等が自ら行う一次評価、区の所管部局が行う二次評価、行財政改革推進本部が行う三次評価という三段階での評価を行っています。

なお、経営評価の基礎資料として作成されたすべての評価表及び改善計画についてインターネット等で公表します。

2. 団体別事業目的・事業内容及び総合経営評価（三次評価）

(1) (財)杉並区勤労者福祉協会

事業目的	<p>区内中小企業勤労者の福祉の向上を図るため、総合的な勤労者福祉事業を行い、もって中小企業の振興、地域社会の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>総合的な勤労者福祉事業として、区内在住在勤者全体のための一般事業と、協会会員(事業所数1,966所、会員数4,824人)を対象とした会員事業を実施している。</p>	事業内容	<p>一般事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座、セミナー等の開催。 <p>会員事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーの主催、各種チケットあつ旋。 ・祝い金、弔慰金、見舞金の支給。 ・人間ドック、健康施設等の利用補助。 ・住宅ローン等のあつ旋、退職金共済への加入促進。
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業が置かれた厳しい状況の影響により、会員事業所数、会員数は減少している。しかし、協会の総収入、総支出は前年を上回る結果となっている。これは、協会自らが会員や事業参加者を対象にアンケートを実施し、必要に応じた事業の見直しを行なっている表れで、このような顧客志向のサービスに努めている限り、必ず会員数、参加者数も増加するものとする。今後ますますの改善と努力を期待したい。 ・ 協会の経営分析(定性評価)は、経済性の満点をはじめ、すべての分野で高い評価になっている。提供するサービス、そして事業収入も増加しているので、高い評価もうなずけるところである。しかし、その一方で、補助金依存度は昨年度より減少しているが37.0%と高く、「協会運営のあり方検討会」のなかで、十分な議論を重ね、さらなる飛躍を期待したい。 		

(2) (財)杉並区障害者雇用支援事業団

事業目的	就労が困難な障害者の雇用支援や就労の場を確保すること、就職後継続して職場に定着できるように、障害者、雇用事業者の相談援助を一貫して行い、障害者の自立、あらたな可能性を発見するための支援を行い、ノーマライゼーションの理念を実現する。	事業内容	就労機会の開拓、提供 職業準備訓練 職業リハビリテーションに係る情報の提供、相談、援助 事業主に対する雇用管理に関する事項についての助言、援助 障害者雇用支援者に係る情報の収集、提供 障害者雇用支援者に対する研修の実施 杉並区から受託する施設の管理運営
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団は、杉並区内における障害者の雇用支援、就労の機会提供など、障害者の就業施策において重要な役割を果たしていることや昨年度に比べ、事業収入を増加させたことは評価できる。 ・ 障害者の地域での社会参加と自立のため、事業団は企業就労の支援として、新たに区役所や図書館での体験実習などに取組むなど、着実な努力により就職者数増加につなげたことは評価できる。 ・ 「障害者雇用支援杉並アクションプラン」の策定により、事業団の役割分担が明確となり、障害者の雇用支援と事業者の要望への対応に方向性が打ち出された。今後は、これまで以上に、事業の目的を見据えた取り組みを期待する。 		

(3) (財)杉並区スポーツ振興財団

事業目的	スポーツ振興に関する事業を行うことによって、区民のスポーツ活動を活性化させ、健康で潤いのある豊かな暮らしの実現と活力ある地域社会の形成するため、区民向け各種スポーツ教室やイベントを実施する	事業内容	各種スポーツ教室の実施 野外スポーツ活動の普及 ニュースポーツの普及 スポーツ関係団体の育成・支援及び各種スポーツ指導者養成 区民体育祭やスポーツレクリエーション大会などスポーツ普及、事業の実施 健康・体力づくりの実施及び相談 スポーツ情報の収集及び提供 区から受託する体育施設の管理運営 その他事業目的を達成するために必要な事業
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年始営業、民間事業者等との連携事業や利用者へのアンケート実施などにより、イベントや各種教室の実施回数、参加者ともに増加している。また、財団のホームページの開設や名札着用による接客向上への取り組みも行われ、顧客志向への姿勢は評価できる。 ・ 人件費、管理費は、いずれも昨年度より減少している。入札制度の見直しなどにより、経費の削減を図ったことについては評価できるが、昨年度の外部評価で指摘されているように、依然として収入のうち補助金と区からの受託事業の占める割合が高い。より一層の経営努力が必要である。 ・ 平成18年度には、指定管理者制度が導入され、財団と民間事業者との比較が焦点となる。これまでの実績と財団ならではの公平性、独自性で地域スポーツ振興の支えとなることを期待する。 		

(4) (社福)杉並区社会福祉協議会

事業目的	杉並区における社会福祉事業とその他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。	事業内容	法人運営事業 地域福祉事業 NPO・ボランティア活動推進事業 杉並福祉サービス利用援助事業 受託事業 介護保険事業 助成事業 貸付事業 歳末たすけあい運動事業
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉推進の中核を担う団体として、「団体のあり方検討会」を設置したほか、職員の目標管理システム導入による勤務評価に取り組むなど、経営改革に積極的であることは評価できる。ただし、昨年度の外部評価でも指摘されていたが、他団体と比較すると管理費比率が依然高い水準にあるため、今後一層の効率化を期待する。 ・ 事業への取り組みは、15年度よりさんあい公社の事業を受け継ぐなど多岐に渡っているが、ほとんどの事業で目標値に近い成果を上げている。また、介護事業を区の受託事業から介護報酬での自主事業に切り替えたため、受託事業依存度が昨年の51.5%から11.5%となり、自立性がより高まっている。 ・ 社会福祉制度のさまざまな見直しの中で必要とされるサービスに対して、迅速に対応できる体制づくりに努め、民間では扱うことが難しい採算に合わない顧客の受け入れなど、これまで以上の地域福祉サービスの担い手として、その活動に期待する。 		

(5) (社団)杉並区シルバー人材センター

事業目的	一般雇用にはなじまないが、働く意欲を持っている健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図る。また、新たなニーズ、市場の開拓と、会員のスキルアップへの取り組みを図り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを推進する。	事業内容	高齢者に対する以下の ~ 就業機会の開拓・提供 研修・講習 調査研究 情報の収集・提供 相談 地域高齢者社会参加促進事業
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数、受託件数とも着実に伸びており、事業収入も高水準を保つなど、健全な運営が行われている。しかし、今後団塊の世代が地域に戻り、急激な会員増が予想されるため、新たな市場開拓などに努める必要がある。 ・ 受注拡大に向け、発注者への満足度調査や会員等の接客研修を実施するなど、地道な努力は評価できる。また、業務のOA化や利用料金のコンビニエンスストアでの支払いなど、事務効率の改善やサービスの向上への取り組みが、さらに大きな成果を生むことを期待する。 ・ 補助金収入依存度が毎年減少し、正味財産は着実に増やすなど、年々自立性が高まっていることは十分評価できる。今後も引き続き、経営努力を期待する。 		

(6) (NPO)すぎなみ環境ネットワーク

事業目的	市民の主体的な活動を中心に行政や事業者と協働して、環境保全分野においてリサイクルの推進をはじめとする諸事業を行うことにより、市民の生活環境の向上をはかり、もって地球環境の保全に寄与する。	事業内容	家具、衣料品のリサイクルショップの運営 フリーマーケットの実施 集団回収事業の運営 不用品情報コーナーの運営 講座、講習会等による普及啓発 ディッシュ・リユースシステムの運営 環境情報館管理運営 あんさんぶる荻窪貸室業務
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> 依然として中長期計画が策定されていない。早急に団体独自の目標達成の指針を持つべきである。 補助金事業の委託化により補助金収入依存度は減少したが、一方で区からの委託事業依存度が82.7%となり、他団体に比べ突出している。また、区からの受託事業のあんさんぶる荻窪の管理運営のため職員数が大きく増えている。受託初年度は、やむを得ないにしても、今後事業量の適切な算定や事務の効率化により、職員数の見直しを図っていくことも必要である。 リサイクルは、地球環境を守る取組みへの入り口といえる。団体のフリーマーケットの開催や衣服のリユースなど、継続的な運動がリサイクルの大きな流れを生む源泉である。今後は、リサイクル活動の推進とともに、環境問題全体にも活動を広げ、環境団体の中心的な存在として、NPO 団体と区との協働のモデルケースとなるよう、さらなる努力を期待する。 		

(7) 杉並区文化・交流協会

事業目的	杉並区における文化・芸術活動及び国内・国際交流の振興を図ることにより、活力のある開かれた地域社会の発展と心豊かな区民生活の形成に寄与することを目的とする。全区民を対象とした文化・芸術に関する事業と区内在住外国人向けの国際交流事業や国内交流事業を実施している。	事業内容	文化・芸術に関する鑑賞事業 文化・芸術活動の育成・振興事業 友好都市等との交流事業 外国・市民との芸術・文化等交流事業 地域における国内・国際交流の推進、相談に関する事業 交流団体との連携及び育成振興連絡事業 協会の広報、情報提供に関する事業
三次評価	<ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術に関する事業は、実施回数こそ前年を上回ったが、参加者は減少している。平成16年度は、日本フィルハーモニー交響楽団と杉並区の友好提携10周年の年にあたり、記念イベントが催されたにもかかわらず、参加者は前年を下回った。今後は、実施時期の見直しや様々な媒体を使ったPR 活動が必要である。 国際及び国内交流事業は、開催回数も参加者もこれまでと同様、低水準となっている。芸術分野とともに、アンケートを実施するなど顧客ニーズを的確に捉え、事業の見直しを行なう必要がある。 協会の経営評価は、昨年に比べ計画性・目的適合性がランクを下げた。補助金収入依存度も高く、事業収入のさらなる増加への取り組みと効率的な運営が必要である。その一方で、協会から要望のある単年度予算から数年にわたる予算の担保については、魅力ある事業展開には不可欠であり、今後区でも検討が急がれる。 		

3. 対前年度比較

(1) 職員数

職員数は、総数で21名増加している。うち20名は「すぎなみ環境ネットワーク」の非常勤職員で、16年度から受託したあんさんぶる荻窪と環境情報館の管理運営業務に対応するものである。

その他では、「杉並区障害者雇用支援事業団」の3名と「杉並区社会福祉協議会」で2名が増えている。

一方、職員数が減ったのは、「杉並区スポーツ振興財団」の3名と「杉並区シルバー人材センター」の1名で、他団体に変動はなかった。(10頁資料「1職員数」参照)

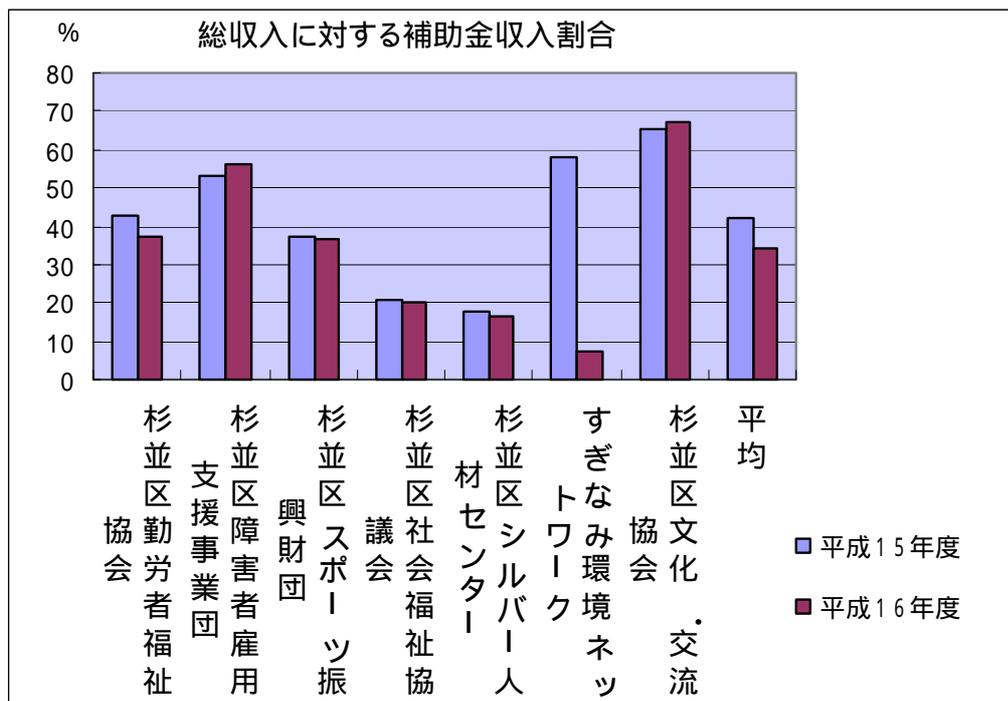
(2) 補助金収入割合

各団体の当期収入に占める補助金収入割合の平均は、34.5%である。対前年度比で7.7ポイント(42.2%→34.5%)の減少となったが、補助金額としては、1千万円弱の減少にとどまっています。

団体別に見ると「すぎなみ環境ネットワーク」の58.0%から7.5%への大幅な減少が目立つほか、「杉並区勤労者福祉協会」も5.6ポイント削減となっています。

その一方で、「杉並区文化・交流協会」は依然として67.3%、「杉並区障害者雇用支援事業団」も56.1%と補助金収入割合が高くなっています。

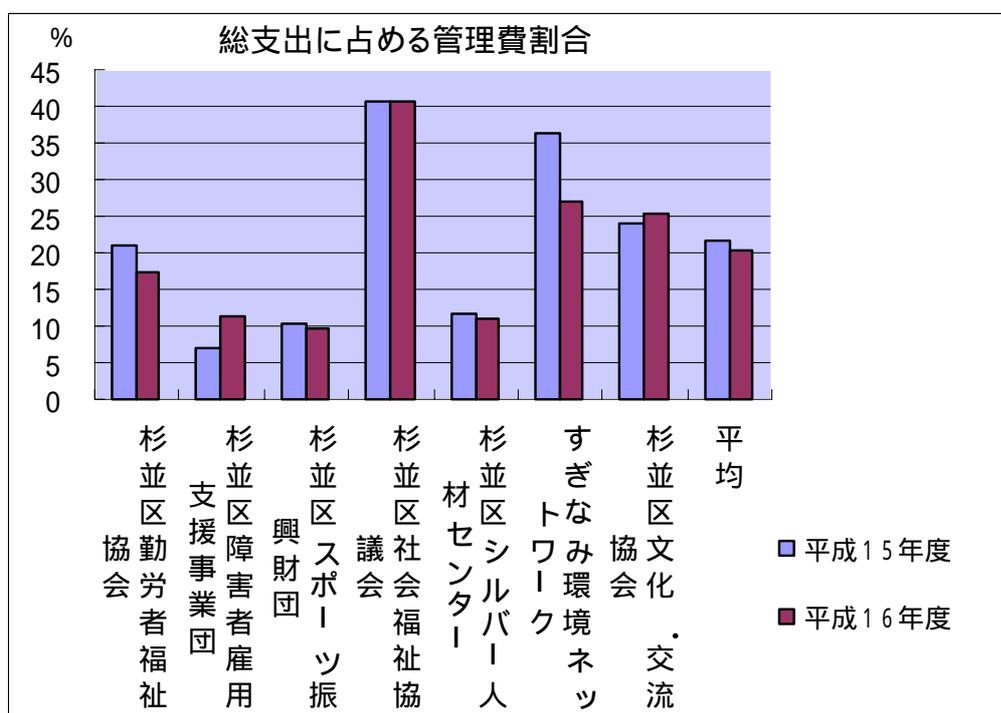
各団体は、顧客志向に立った事業の見直しとより一層の効率化によって、補助金依存体質を計画的に改善することが必要です。(11頁資料「2財政」参照)



(3) 管理費割合

当期支出に占める管理費割合の平均は、対前年度比で2.0ポイント(22.6% 20.6%)減少している。団体別に見ると「杉並区勤労者福祉協会」の10.5ポイント削減が最も大きく、次いで「すぎなみ環境ネットワーク」の9.5ポイント削減となっています。

管理費割合が低いのは、「杉並区スポーツ振興財団」が9.6%を筆頭に、「杉並区シルバー人材センター」と「杉並区障害者雇用支援事業団」が続きます。「杉並社会福祉協議会」は、40.8%と突出して高いため、早急に管理業務の見直しを行うなど改善が必要です。(11頁資料「2財政」参照)

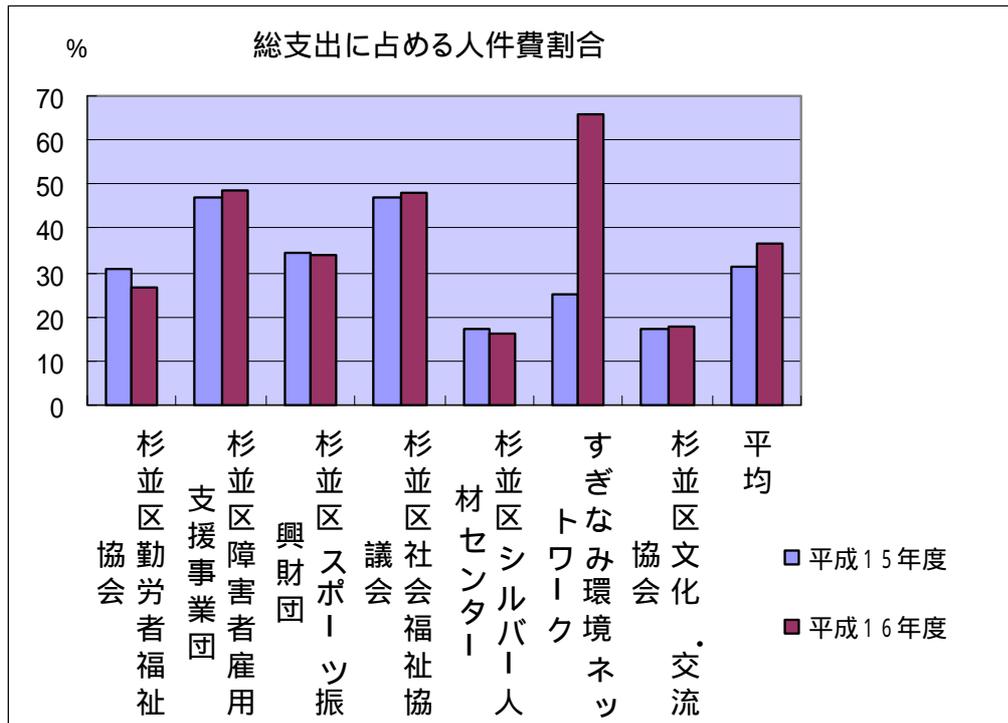


(4) 人件費割合

当期支出に占める人件費割合の平均は、前年度に対し5.4ポイント(31.2% 36.6%)増加しています。「すぎなみ環境ネットワーク」の受託事業開始に伴う20名の職員増によって、人件費が大幅(24.9% 65.8%)に増えています。

一方、「杉並勤労福祉協会」では、4.4ポイント(30.8% 26.4%)の減少となっています。

団体経営の効率化には、計画的な人員配置、人件費の削減は避けては通れない課題です。各団体のより一層の努力が望まれます。(11頁資料「2財政」参照)



(5) 経常収支

経常収支は、「杉並区勤労者福祉協会」が唯一マイナスとなっていますが、これは特定預金支出を行ったためで、これを除いた経常収支は約800万円のプラスとなります。全体では、経常収支額は半減(30,750千円→10,985千円)しているものの、すべての団体が黒字を保っています。

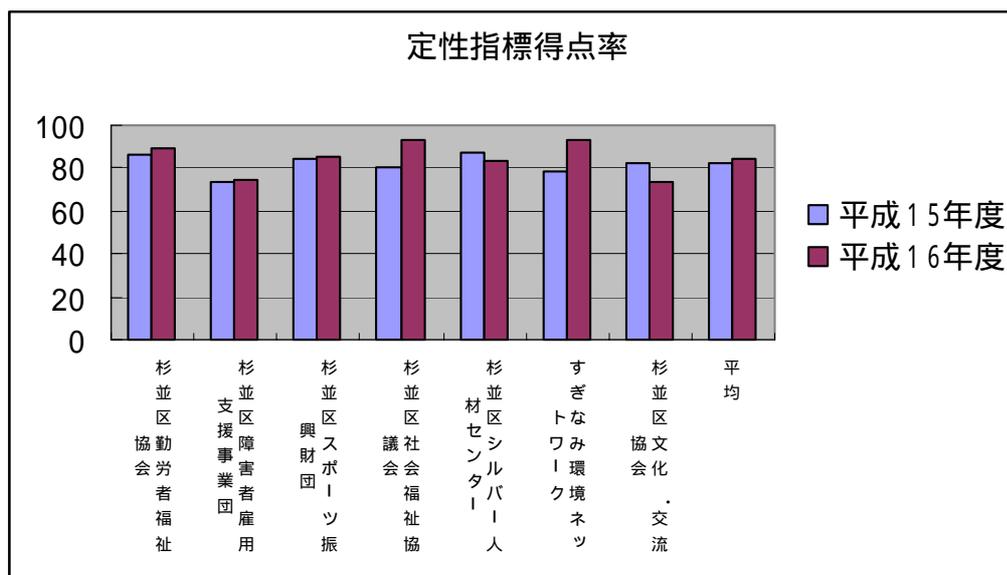
各団体は、引き続き計画的な団体運営に努め、安定したサービスの提供を期待します。(11頁資料「2 財政」参照)

(6) 定性指標

定性指標は、評価項目を整理し昨年の2,700点満点から500点満点とし、団体経営の「計画性」「健全性」「効率性」などを自ら採点しました。得点率は、平均で84.4%と昨年より、2.5ポイントの上昇となっています。

高い点数となっているのは、「杉並区勤労者福祉協会」と「すぎなみ環境ネットワーク」で、ともに460点を超えています。その一方で、「杉並区文化・交流協会」と「杉並区障害者雇用支援事業団」は、370点前後の低い点数になっています。

顧客の満足を得るためには、組織の活性化と業務全体の見直しが不可欠であり、各団体の努力を期待します。(12頁資料「3 定性指標」参照)



(7) 定量指標

具体的に比率等を掲げて評価する定量指標の平均値は、「増加が望ましい」「減少が望ましい」などの17項目中13項目で条件を満たしています。条件を満たなかったのは、経常収入の伸長率、経常支出人件費比率、資産剰余率と損益分岐点の4項目でした。

団体別では、「杉並区文化・交流協会」と「杉並区障害者雇用支援事業団」が、補助金収入依存率を減少させることができず、高い数値になっています。補助金への依存を極力抑え自立性を高めるよう、さらなる経営努力を期待します。

(13頁資料「4 定量指標」参照)

4. 経営評価のまとめと課題

杉並区が財政支出や人的支援などの援助を行っている団体で、区の事業の一定部分を代行するなど密接な関係にあると認められ7団体の経営評価を実施しました。

経営評価の目的は、財団等の団体及び区主管課のコスト意識の向上と経営内容を公表することにより、説明責任を果たすことです。さらに、効率的・効果的な事業を展開することによって、区民サービスの向上を図ることに視点を置き取り組んでいます。

- (1) 経営評価は、平成13年度より実施し、各団体の財務体質が明らかとなり、経営改善計画の中にも生かされつつあります。今後も、事業ごとの分析を進めるなど、事業の見直しを図るとともに、効率的な団体運営を進めていく必要があります。
- (2) 経営改善計画や中長期計画に基づいた着実な事業推進を行いながらも、社会情勢の変化に柔軟に対応する姿勢が必要です。また、区民ニーズを的確に捉え、定期的に計画を見直していくことが求められます。

(3) 区では、公の施設への指定管理者制度導入を進めています。この制度は、公共的団体等に限定されていた管理委託を民間会社やNPO 団体などに門戸を広げる、いわば規制緩和です。そのため、各団体は今まで以上に区民サービス向上やコスト意識の徹底を図り、民間に打ち勝つ競争力を持つ必要があります。

(4) こうした状況を踏まえ、区は各団体の運営等の見直しを要請したところです。

「杉並区勤労者福祉会館」

顧客志向のサービスに努め、さらに会員拡大と参加者の増加に努めるとともに、協会のあり方について、十分な検討を行うこと。

「杉並区障害者福祉会館」

障害者の雇用支援と事業者の要望への対応に、適切に対応する事業を展開していくこと。

「杉並区スポーツ振興財団」

体育施設の指定管理者制度の導入にあわせ、より一層の公平性と独自性を確保し、民間事業者との競争に対応するため財団の運営を見直すこと。

「杉並区社会福祉協議会」

社会福祉事業が民間に移行されるなか、採算の合わない顧客の受け入れなど課題も多い。地域福祉サービスの基盤整備のため区との協働を推進すること。

「杉並区シルバー人材センター」

今後予想される会員数の増加に対応するため、高齢者の就労機会の確保に向けた受注拡大に努めること。

「すぎなみ環境ネットワーク」

団体独自の目標達成の指針である中長期計画を早急に策定すること。

「杉並区文化・交流協会」

参加者を増やすためアンケートなどを実施し、ニーズを的確に捉えた事業展開に努めるとともに、協会のあり方についても検討を行うこと。

財団等に関する調べ (資料編)

1 職員数

上段:平成15年4月1日現在
下段:平成16年4月1日現在 (単位:人)

団体名	年度	役員			常勤職員			非常勤固有職員	合計
		常勤	非常勤	計	派遣	固有	計		
(財)杉並区勤労者福祉協会	15	1	20	21	5	0	5	5	31
	16	1	20	21	5	0	5	5	31
(財)杉並区障害者雇用支援事業団	15	1	14	15	1	8	9	12	36
	16	1	14	15	2	8	10	14	39
(財)杉並区スポーツ振興財団	15	1	14	15	15	51	66	66	147
	16	1	13	14	14	50	64	66	144
(社福)杉並区社会福祉協議会	15	0	17	17	10	54	64	153	234
	16	1	16	17	9	56	65	154	236
(社団)杉並区シルバー人材センター	15	1	22	23	0	14	14	41	78
	16	1	22	23	0	14	14	40	77
(NPO)すぎなみ環境ネットワーク	15	1	15	16	0	5	5	2	23
	16	1	14	15	0	6	6	22	43
杉並区文化・交流協会	15	1	16	17	8	0	8	9	34
	16	1	16	17	8	0	8	9	34
合計	15	6	118	124	39	132	171	288	583
	16	7	115	122	38	134	172	310	604

人数は、「平成17年度杉並区財団等運営評価-事業分析 (事業の推移)」から

2 財政

単位:千円

団体名	年度	当期収入										当期支出						経常収支	基本財産
		総収入(経常収入)	自主財源						補助金		総支出(経常支出)	事業費		管理費		人件費			
			受益者負担		基本財産運用収入		その他					金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
			金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
(財)杉並区勤労者福祉協会	15	219,906	87,124	39.6%	4,800	2.2%	34,325	15.6%	93,657	42.6%	229,549	165,744	72.2%	47,914	20.9%	70,610	30.8%	-9,643	300,000
	16	233,939	107,640	46.0%	6,235	2.7%	33,414	14.3%	86,650	37.0%	239,199	184,296	77.0%	41,374	17.3%	63,129	26.4%	-5,260	300,000
(財)杉並区障害者雇用支援事業団	15	193,876	114	0.1%	5,763	3.0%	84,679	43.7%	103,320	53.3%	192,606	178,518	92.7%	13,410	7.0%	90,866	47.2%	1,270	500,000
	16	216,472	119	0.1%	5,974	2.8%	91,080	42.1%	119,299	56.1%	214,380	186,768	87.1%	24,677	11.5%	104,075	48.5%	2,092	500,000
(財)杉並区スポーツ振興財団	15	1,085,540	208,085	19.2%	5,798	0.5%	468,852	43.2%	402,805	37.1%	1,037,774	928,520	89.5%	109,253	10.5%	357,209	34.4%	47,766	500,000
	16	1,056,145	214,383	20.3%	5,807	0.5%	449,081	42.5%	386,874	36.6%	1,016,950	919,580	90.4%	97,370	9.6%	344,453	33.9%	39,195	500,000
(社福)杉並区社会福祉協議会	15	1,320,928	109,325	8.3%	1	0.0%	939,138	71.1%	272,464	20.6%	1,176,690	697,626	59.3%	479,064	40.7%	550,743	46.8%	144,238	3,000
	16	1,282,647	98,659	7.7%	0	0.0%	926,754	72.3%	257,234	20.1%	1,262,752	747,422	59.2%	515,330	40.8%	604,272	47.9%	19,895	3,000
(社団)杉並区シルバー人材センター	15	1,020,347	830,980	81.4%	0	0.0%	5,744	0.6%	183,623	18.0%	997,539	881,226	88.3%	116,312	11.7%	170,547	17.1%	22,808	0
	16	1,076,979	890,724	82.7%	0	0.0%	6,510	0.6%	179,745	16.7%	1,060,192	943,707	89.0%	116,484	11.0%	171,812	16.2%	16,787	0
(NPO)すぎなみ環境ネットワーク	15	92,971	0	0.0%	0	0.0%	39,064	42.0%	53,907	58.0%	74,024	46,974	63.5%	27,050	36.5%	18,468	24.9%	18,946	0
	16	73,420	0	0.0%	0	0.0%	67,897	92.5%	5,523	7.5%	69,237	50,574	73.0%	18,663	27.0%	45,591	65.8%	4,183	0
杉並区文化・交流協会	15	97,602	27,922	28.6%	0	0.0%	5,728	5.9%	63,952	65.5%	97,602	74,187	76.0%	23,415	24.0%	17,076	17.5%	0	0
	16	103,813	27,785	26.8%	0	0.0%	6,206	6.0%	69,822	67.3%	103,813	77,547	74.7%	26,265	25.3%	18,220	17.6%	0	0
平均	15	575,881	180,507	25.3%	2,337	0.8%	225,361	31.7%	167,675	42.2%	543,683	424,685	77.4%	116,631	21.6%	182,217	31.2%	32,198	186,143
	16	577,631	191,330	26.2%	2,574	0.9%	225,849	38.6%	157,878	34.5%	566,646	444,271	78.6%	120,023	20.3%	193,079	36.6%	10,985	186,143

金額は、「平成17年度杉並区財団等運営評価－事業分析（事業の推移）」による
 自主財源(その他)は、「総収入－補助金－受益者負担－基本財産収入」
 総支出は、管理費と事業費との合計
 構成比は、総収入、総支出に占める割合
 金額は、千円未満端数切捨て
 合計欄構成比の上段は合計金額の構成比、下段は各団体の構成比の平均値

3 定性指標

団体名	年度	計画性(100)		目的適合性(100)		健全性(100)		効率性(100)		経済性(100)		合計(500)	
	年度	得点	得点率	得点	得点率	得点	得点率	得点	得点率	得点	得点率	得点	得点率
(財)杉並区勤労者福祉協会	15	320	80.0%	360	90.0%	800	88.9%	420	84.0%	440	88.0%	2,340	86.7%
	16	88	88.0%	88	88.0%	80	80.0%	90	90.0%	100	100.0%	446	89.2%
(財)杉並区障害者雇用支援事業団	15	320	80.0%	260	65.0%	680	75.6%	360	72.0%	360	72.0%	1,980	73.3%
	16	88	88.0%	75	75.0%	70	70.0%	60	60.0%	80	80.0%	373	74.6%
(財)杉並区スポーツ振興財団	15	380	95.0%	340	85.0%	760	84.4%	400	80.0%	400	80.0%	2,280	84.4%
	16	88	88.0%	88	88.0%	80	80.0%	80	80.0%	90	90.0%	426	85.2%
(社福)杉並区社会福祉協議会	15	300	75.0%	300	75.0%	800	88.9%	380	76.0%	400	80.0%	2,180	80.7%
	16	100	100.0%	88	88.0%	90	90.0%	90	90.0%	100	100.0%	468	93.6%
(社団)杉並区シルバー人材センター	15	320	80.0%	360	90.0%	800	88.9%	460	92.0%	420	84.0%	2,360	87.4%
	16	88	88.0%	88	88.0%	80	80.0%	80	80.0%	80	80.0%	416	83.2%
(NPO)すぎなみ環境ネットワーク	15	300	75.0%	360	90.0%	680	75.6%	420	84.0%	360	72.0%	2,120	78.5%
	16	75	75.0%	100	100.0%	90	90.0%	100	100.0%	100	100.0%	465	93.0%
杉並区文化・交流協会	15	380	95.0%	340	85.0%	760	84.4%	340	68.0%	400	80.0%	2,220	82.2%
	16	75	75.0%	63	63.0%	80	80.0%	70	70.0%	80	80.0%	368	73.6%
平均	15	331	82.8%	331	82.8%	754	83.8%	397	79.4%	397	79.4%	2,210	81.9%
	16	86	86.0%	84	84.0%	81	81.0%	81	81.0%	90	90.0%	422	84.4%

* 15年度は、計画性、目的適合性が400点、健全性が900点、効率性、経済性が500点の合計2700点で評価しています。

4 定量指標

分野	指標	算定式	単位	年度	(財)杉並区勤労者福祉協会	(財)杉並区障害者雇用支援事業団	(財)杉並区スポーツ振興財団	(社福)杉並区社会福祉協議会	(社団)杉並区シルバー人材センター	(NPO)すぎなみ環境ネットワーク	杉並区文化・交流協会	平均	参考
計 画 性	1 事業費の対計画比率	全事業の事業費(決算額) ÷ 当初予算事業費額 × 100	%	15 89.9 16 91.8	94.8 99.2	92.1 91.2	92.1 97.8	105.2 105.1	92.7 87.4	99.0 94.2	95.1 95.2		
	2 経常収支	経常収入(総収入) - 経常支出(総支出)	千円	15 -9,643 16 -5,260	1,270 2,091	47,766 39,195	144,238 19,895	22,808 16,787	18,946 4,183	0 0	32,198 10,984	通常黒字が望ましい	
	3 経常収支比率	経常収入 ÷ 経常支出 × 100	%	15 95.8 16 97.8	100.7 101.0	104.6 103.9	112.3 101.6	102.3 106.0	125.6 106.0	100.0 100.0	105.9 101.7	通常100%以上が望ましい	
	4 事業収入合計の伸長率	当該年度の事業収入 ÷ 前年度の事業収入 × 100	%	15 83.1 16 117.1	95.8 126.9	101.7 103.0	128.0 103.3	109.7 107.2	110.5 439.8	80.9 99.1	101.4 156.6	通常増加が望ましい	
	5 経常収入の伸長率	当該年度の経常収入 ÷ 前年度の経常収入 × 100	%	15 89.2 16 106.4	99.6 111.7	101.3 97.3	162.9 97.1	107.9 105.6	120.8 78.9	101.6 106.4	111.9 100.5	通常増加が望ましい	
	6 事業費比率	全事業の事業費 ÷ 経常支出 × 100	%	15 72.2 16 77.0	92.7 87.1	89.5 90.4	59.3 59.2	88.3 89.0	63.5 73.1	76.0 74.7	77.4 78.6	通常増加が望ましい	
	7 管理費比率	管理費 ÷ 経常支出 × 100	%	15 20.9 16 17.3	7.3 11.5	10.5 9.6	40.7 40.8	11.7 11.0	36.5 27.0	24.0 25.3	21.6 20.3	通常減少が望ましい	
自 立 性	8 補助金収入依存度	補助金収入 ÷ 総収入合計 × 100	%	15 42.6 16 37.0	53.3 56.1	37.1 36.6	20.6 20.1	18.0 16.7	58.0 7.5	65.5 67.3	42.2 34.5	通常減少が望ましい	
	9 収益事業比率	収益事業の事業費 ÷ 全事業の事業費 × 100	%	15 - 16 -	- -	66.8 66.6	- -	- -	58.0 35.4	83.0 83.8	69.3 61.9		
	10 区委託事業依存度	区委託事業費 ÷ 全事業の事業費 × 100 (補助金は含まず)	%	15 - 16 -	7.5 6.7	44.2 42.8	51.5 11.5	49.8 50.3	9.1 82.7	- -	32.4 38.8		
	11 正味財産構成比率	正味財産 ÷ (負債+正味財産) × 100	%	15 94.4 16 93.9	97.0 96.1	76.3 76.0	68.6 75.3	44.6 49.1	90.1 88.0	28.0 23.8	71.3 71.7	通常増加が望ましい	
健 全 性	12 基本財産運用収入率	基本財産運用収入額 ÷ 基本財産額 × 100	%	15 1.6 16 2.1	1.2 1.2	1.2 1.2	0.0 0.0	- -	- -	- -	1.0 1.1	通常増加が望ましい	
	13 経常支出人件費比率	総人件費 ÷ 経常支出 × 100	%	15 30.8 16 26.4	47.2 48.5	34.4 33.9	46.8 47.9	17.1 16.2	24.9 65.8	17.5 17.6	31.2 36.6	通常減少が望ましい	
	14 常勤役員比率	常勤役員数 ÷ 総職員数(非常勤役員を除く) × 100	%	15 10.0 16 10.0	4.6 4.6	0.8 0.8	- 0.5	1.8 1.8	12.5 3.4	5.6 5.6	5.9 3.8	通常減少が望ましい	
	15 常勤役員人件費比率	常勤役員人件費 ÷ 総人件費 × 100	%	15 7.7 16 13.8	7.4 6.4	1.8 1.8	- 2.6	4.6 4.6	17.8 7.9	- -	7.9 6.2	通常減少が望ましい	
効 率 性	16 管理費比率の削減率	(1 - 当該年度の管理費比率 ÷ 前年度の管理費比率) × 100	%	15 -49.5 16 37.8	-12.7 -76.1	-20.7 8.5	-9.5 -0.2	6.4 6.0	9.2 26.0	-14.8 -5.4	-13.1 -0.5	通常増加が望ましい	
	17 資産回転率(回)	総収入 ÷ 資産	回	15 0.5 16 0.5	0.4 0.4	1.5 1.5	1.5 1.7	5.3 5.0	4.4 2.8	5.6 5.1	2.7 2.4	通常1回以上が望ましい	
	18 職員1人あたり事業収入	事業収入 ÷ 総職員数(非常勤役員を除く)	千円	15 12,071 16 14,134	3,248 3,629	4,653 4,643	3,289 3,352	25,199 27,019	1,914 2,322	1,814 1,798	7,455 8,128	通常増加が望ましい	
経 済 性	19 資産剰余率	剰余金(当期正味財産増加額) ÷ 資産 × 100	%	15 1.4 16 1.7	0.2 -1.6	-0.4 -1.2	21.8 -2.0	11.5 8.7	89.8 15.9	1.5 0.0	18.0 3.1	通常増加が望ましい	
	20 損益分岐点	固定費 ÷ (1 - (変動費 ÷ 総収入))	千円	15 201,586 16 209,535	191,979 213,459	1,036,776 1,016,191	1,015,253 1,234,969	933,601 1,001,316	64,329 52,634	97,565 99,746	505,870 546,836		
	21 損益分岐点比率	損益分岐点 ÷ 総収入 × 100	%	15 91.7 16 89.6	99.0 98.6	95.5 96.2	76.7 96.3	91.5 93.0	69.2 71.7	100.0 96.0	89.1 91.6	通常90%未満が望ましい	

金額は、千円未満を切り捨てる。%及び回については、小数点以下第2位を四捨五入する。